

こくご ぎおんご かんが
国語 擬音語で「なぞかけ」を考えよう

月 日()

ぎおんご
 擬音語とは、ものの(音)を表す言葉です。

たと かんなり あらわ こ
 例えば、雷を表す(語)のひとつに「ゴロゴロ」があります。

そして、この「ゴロゴロ」には、もうひとつ「寝ている人」のように、ものの(様子)を表す場合もあります。

① 言葉の意味を2つ考えて、表を完成させてみよう

ことば	あらわ おと	あらわ よつ す
言葉	表す音	表す様子
ゴロゴロ	かみなり	寝ている人
ガラガラ		
ジーン		

みなさんは「なぞかけ」という言葉を聞いたことがありますか？

「なぞかけ」とは

- * 「言葉遊びのひとつ」で
- * 「なぞなぞの変型」で
- * 「17世紀(1600年代)の終わりから18世紀初めに発生」しました。

(例) 「かみなり」とかけまして「お休みの日のお父さん」と解きます。

その心は・・・どちらも「ゴロゴロしています」

【*そんなお父さんばかりじゃな～い!!】

② 「なぞかけ」を考えてみよう

「 」とかけまして「 」と解きます。

その心は・・・どちらも「 」

いいなぞかけができれば、教えてくださいね。楽しみにしています。

